

事務事業名	介護保険事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	高齢者福祉G	課長名	中島 豊
施策名	(18) 高齢者福祉の充実	担当者名	糸原 幸子	電話番号 (内線)	0854-40-1042 3618
基本事業名	(052) 自立支援とサービスの充実	予算科目	会計 01155651 款 1155651 項 5651 目 651 中事業 1		介護保険事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	介護保険に関する多様な相談・認定申請業務・調査依頼業務等介護保険全般に対する事務事業。保険者である雲南広域連合との調整業務。 ①介護保険サービスの相談・認定申請手続業務(年間通じて随時) ②主治医の意見書及び訪問調査依頼業務(年間通じて随時) ③訪問調査結果データ転送業務(年間通じて随時)	介護保険制度が始まった平成12年度から実施している。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・一般事務費(旅費13千円、需用費(消耗品)212千円、郵券料16千円、使用料12千円) 計252千円 ・雲南広域連合介護保険特別会計への負担金 656,841千円	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円							
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	事業費計(A)	千円	625,828	651,066	657,093	690,394	691,000	
・介護保険に関する相談・認定申請等受付、調査業務 ・雲南広域連合や事業所との協議、会議出席	正規職員従事人数	人	15	15	15			
	延べ業務時間	時間	6,197	6,816	6,900			
	人件費計(B)	千円	23,633	26,501	27,200	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	649,461	677,567	684,293	690,394	691,000	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	介護保険に関する相談、申請業務 資格・保険料に係る調査報告業務	⑤ 活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ア 65歳以上の人口	人	13,990	13,760	13,771	14,113	14,285	
	23年度に同じ	イ 介護保険第1号被保険者数	人	14,006	13,782	13,792	14,113	14,285	
		ウ 雲南広域連合への負担金	千円	625,600	650,791	656,841	690,115	691,000	
		エ							
		オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	65歳以上高齢者とその家族	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		⑥ 対象指標							
		ア 要介護認定者数	人	2,416	2,482	2,560	2,600	2,630	
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	介護サービスの利用により要介護者およびその家族の心身の負担を軽減する。	⑦ 成果指標							
		ア 介護サービス利用者数	人	2,228	2,327	2,386	2,400	2,430	
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	高齢者が生きがいを持って、いきいきと暮らす。	⑧ 上位成果指標							
		ア いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	65.1	70.1	67.4	70	72	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
制度開始から10年以上経過し、介護保険制度は市民の間に浸透してきている。年々要介護認定者数が増加し、これに対応するための報酬の改定など、3年ごとに制度が大きく見直されている。	総合センター介護保険担当者と担当者会を開催し、事務処理方法などについて協議し改善を図っている。	家族形態の変化等により、在宅での介護が困難なケースが増え、施設整備の充実が求められている。

事務事業名	介護保険事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 介護保険サービスを利用することにより、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう促す。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって生活できるよう、困っている高齢者及び家族等の日常生活を支援する。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 個々の状況により、必要な方には適切なサービスが受けられるよう指導している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 個々の相談等に対し、包括支援センター、介護保険事業所等と連携を図り相談者のニーズに応える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 国で定められた制度であり、廃止することはできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 国で定めた制度である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の事務費及び裁量のない負担金(給付費が主)である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か？成果を下げずに正職員以外や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 個人のプライバシーに係る情報を取扱うので、事業委託または臨時職員での対応は難しく、人件費は相談・申請件数により増減を伴うので時間の短縮はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 本人・家族・民生委員等からの相談または介護申請等に対応しているため、公平・公正に対処している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の制度改正により度々変更が生じてくるので、常に最新の情報により運用できるよう努力する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  国で定められた制度であり、法令に則って行なう必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 制度改正が度々行われるため、職員の学習意欲を高め研修等へ積極的に参加して介護保険等の知識が深まるよう努めながら、多様な相談への対応が行なえるようにする。																							